

ニッポンハム食の未来財団 2019年度第一期 団体活動支援助成 完了報告書

企画活動名	第4回ふくおか食物アレルギー攻略法講座（講演会） ー災害時に生き抜く方法お教えしますー
フリガナ	アベ タイスケ
申請者（代表者）氏名	安部 泰佑
団体名（正式名称）	団体名：福岡食物アレルギーネットワーク 申請者の役職・肩書など：事務局長

1. 活動結果要約

近年地震等の災害が多く発生し、食物アレルギー児を持つご家庭や預かっている園、学校では災害時対応に不安や疑問を多く抱えている。それらの方々を対象に食物アレルギー専門医師を講師として 災害発生に備え平時に準備しておくこと、災害時の適切な対処方法を伝授することで物心両面での知識を習得していただくことを目的とした講演会をおこなった。

今講演会では、アレルギーの基本や集団生活上の注意点と災害時に知っておくべきこととして、時間帯により家族のだれがどこにいるのか、避難経路の確認、対応食（粉ミルク含め）を3日～1週間分備蓄すること、またその過程での備蓄ではローリングストック（賞味期限を考慮して古いものから消費してその分を買い足していき常に一定量の備蓄をしておくこと）の推奨、お子さんが食べられない食品をカード等に記して準備しておくこと、さらに災害時にはそれをまわりの居合わせる方々にアピールすること等 を伝えることができた。

また試食会では、日ごろの対応食と併せて災害備蓄用の水や火を使わないでも食べられるレトルト食品等を紹介し試食いただいた。対応食の存在はご存知でも災害時の対応食があることをご存じなかった方がほとんどで 今回の試食会によりそれも認識いただけた。

日常生活はもとより災害時にも適切な対応を行うことで ストレスなく事故もなく生き抜く知識を持っている状態にできたと考える。

## 2. 活動目的

1) 食物アレルギーとは何かを基礎からしっかりと学び、まずは日常生活が円滑に行える状態になるようにしっかりと理解しておく。

2) 災害時に食物アレルギー児は、配給の食料、炊き出しの材料、飲料（乳児の場合ミルク）、薬、皮膚症状や呼吸器症状の悪化等 多くの困りごとが出てくる。

災害が起きてから あわててアレルギーに関する理解を求めても対応は難しく、災害発生から通常の商品が届くまで 3 日はかかり、また自治体は市民全体に対応する食料や医薬品を備蓄しているわけではなく、食物アレルギー対応の商品の提供も難しいことを理解する必要がある。

そこで平常時に災害に備えた、家庭や園での備蓄品、薬の管理、スキンケア、埃などの呼吸器症状対策、炊き出しのできるアレルギー食等の対策を十分に理解することを目的とする。

自身で災害に備えた知識を持つことで、もしもの災害時に少なくとも 1 週間程度は行政に頼らずストレスなく事故もなく生き抜くことができるようにしておくという意義がある。

## 3. 活動方法

### 【当初の計画】

- ・日程 2019 年 10 月のいずれか 1 日に 180 分程度
- ・会場 福岡市内の会場で
- ・講師 当会世話人のアレルギー専門医師を講師として
- ・対象 福岡及び近郊の食物アレルギーのお子さんをお持ちの保護者  
(特に新入園新入学のお子さんをお持ちの保護者) および園／小学校関係者
- ・参加 80 名予定

## 講演会内容（案）

- |   |     |
|---|-----|
| 1、 当会世話人食物アレルギー専門医師による 食物アレルギーに関する講義<br>食物アレルギーの発症の機序～診断～検査～治療法等最新情報の提供 | 40分 |
| 2、 新入園、新入学に備えて（生活上注意すべき点）   | 30分 |
| 3、 エピペンの実機を使った講習  | 20分 |
| 4、 休憩&対応炊き出し試食  | 40分 |
| 5、 アレルギーっ子の災害時の対応<br>避難所での対応、食事、飲料（乳児の場合ミルク）、炊き出しでの注意事項                 | 30分 |
| 6、 質疑応答   | 15分 |

## 【実績 計画通りは○】

- ・ 日程○ 2019年10月20日（日）に 12:30～16:00で開催済み
- ・ 会場○ 福岡市内 あいれふ福岡市健康づくりサポートセンター
- ・ 講師○ 当会世話人のアレルギー専門医師の柴田瑠美子、堤信、手塚純一郎、増本夏子
- ・ 対象○ 福岡及び近郊の食物アレルギーのおこさんをお持ちの保護者（特に新入園新入学のお子さんをお持ちの保護者）および園／小学校関係者
- ・ 参加○ 85名

## 講演会内容

- 1、○ 当会世話人食物アレルギー専門医師による 食物アレルギーに関する講義  
食物アレルギーの発症の機序～診断～検査～治療法等最新情報の提供
- 2、○ 新入園、新入学に備えて（生活上注意すべき点）
- 3、○ エピペンの実機を使った講習  
さらに吸入器講習も実施
- 4、○ 休憩&対応炊き出し試食

5、○ アレルギーっ子の災害時の対応

避難所での対応、食事、飲料（乳児の場合ミルク）、炊き出しでの注意事項

6、○ 質疑応答

4. 結果及び波及効果

1) 活動終了時の結果（保護者に対し）

- ・食物アレルギーの正しい知識を身につけた状態（食物アレルギーの基礎知識～最新情報）にでき、日常生活で、事故を防ぐためにやっておくことがわかった状態にできた
- ・災害時に避難所での食事、薬や体調管理、炊き出しまで 生き抜く方法を理解した状態にでき、もしもの災害時に少なくとも 1 週間程度は行政に頼らずストレスなく事故もなく生き抜くことができる状態にできた

2) 活動終了時の結果（園/小学校関係者に対し）

- ・食物アレルギーの正しい知識を身につけた状態（食物アレルギーの基礎知識～最新情報）にでき、事故を防ぐために 園関係者が、保護者と何の情報をすり合わせておくべきかがわかった状態にできた
- ・災害時のアレルギー児の一次対応、また園/小学校で待機する場合の対処方法を理解した状態にでき、災害時でもストレスなく事故を0に近づける適切な対応ができる状態にできた

3) 期待される波及効果

参加者には、ご自宅または施設に戻りご参加されていない家族および祖父母等や施設の方々に内容を共有していただくことで 少なくともそのお子さんの身近なまわりで事故が起こらないような環境を作っていただける。

また施設側が毎年入園入学してくるお子さんの保護者に対し、施設側でアレルギー知識が共有されていること、対策ができていて安心してお子さんを預けることができる。

当該講座のトピックスをホームページおよびメール配信と会員小児科クリニックから外来に来られる患者様に発信し多くの方に災害時の適切な対応を知っていただく波及効果が期待できる。

### 【考察（終了後のアンケート結果より）】

- ・講座第 1 部は、食物アレルギーの基本の話を理解してもらうため基礎編と入園入学前の疑問や不安を解消することを目的としたが 大変わかりやすく有用であった旨のアンケート結果から 正確な情報と最新の情報を伝えることができ 疑問や不安を解消でき大成功であったと考える。
- ・講座第 2 部は、メインテーマの「災害時の生き抜く方法」であったが、時間帯により家族のだれがどこにいるのか、避難経路の確認、対応食（粉ミルク含め）を 3 日～1 週間分備蓄すること、またその過程での備蓄ではローリングストック（賞味期限を考えて古いものから消費してその分を買い足していき常に一定量の備蓄をしておくこと）の推奨、お子さんが食べられない食品をカード等に記してを準備しておくこと、さらに災害時にはそれをまわりの居合わせる方々にアピールすること等 を伝えることができた。また、緊急時の薬の対応と準備では、緊急時のエピペン対応、災害対策としての薬の管理の仕方、吸入器の緊急の使い方等の講義を行い、今まで薬等の災害対策を知らなかった方々が知識を得られたとの評価であったため大成功であったと考える。
- ・講座第 3 部試食会では、日ごろの対応食と併せて災害備蓄用の水や火を使わないでも食べられるレトルト食品等を紹介し試食いただいたところ、対応食の存在はご存知でも災害時の対応食があることをご存じなかった方がほとんどで認識いただくことができた。
- ・講座全体を通し、日常生活はもとより、災害用の備蓄や準備、災害時に適切な対応を行うことで ストレスなく事故もなく生き抜く知識を持っている状態にできたと考える。

### 5. 今後の活動について

講座終了後のアンケート結果から 今回も食物アレルギーについて「正確な情報がほしい」「最新の情報がほしい」の要望と、入園入学を前に集団生活に不安をかかえている保護者が多かったため、今回のような食物アレルギーのキーオピニオンの MD を講師として 最新の情報として検査から治療、予防、事故時の対処までの情報発信および入園入学後の施設とのすり合わせ方、生活のポイントの情報提供を継続して行うことが重要と考える。

「災害備蓄、災害時」の家庭や園で準備していただくことの知識が少ないことを考えると それらを継続して啓発することも重要と考える。

今後の活動として、講演会や相談会、当会ホームページから 正確な情報、最新の情報を発信し続ける事で、アレルギーに関してネットで氾濫している様々な情報の中から当会に来れば正確な最新の情報が得られることをわかっていただける状態にできる。

さらに、常に新しく「食物アレルギー」と診断された保護者が出てくること、また、園でも新しく着任のスタッフがいることから 少なくとも年に1回講演会（試食会含む）を開催したい。

以上